



## 「所長挨拶」



史上初の10連休も終了し、各学校では、順調に教育活動が進んでいることと思います。さて、総合教育センターは、「研修調査室」と「教育支援室」の2室体制となり、3年目を迎えました。

研修については、すでに各学校に配付してあります「研修の手引き」や「いわき市教職員研修計画」、教育支援室の活用については、「教育支援室活用の手引き」に詳しく載っておりますので、参考にしてください。

また、耐震工事のためセンター事務室は、現在、文化センター1階に移転しています。研修場所も文化センター以外になることも多くなりますので、研修案内要項の確認をお願いします。

今年度も総合教育センターのホームページで、「研修の連絡」「研修の様子」、この「街路樹」などをアップしていますので、ぜひご覧になってください。さらに、各種様式、エリム資料、調査研究委員会資料などは、総合教育センター配付用フォルダ(Kドライブ)からダウンロードできるようにしてありますので、ご活用ください。

「研修調査室」「教育支援室」ともに先生方のニーズに応え、いわき子どもたちが健やかに成長できるよう努力してまいりますので、今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

## 「研修講座のフラッシュアップ」

研修調査室では、昨年度研修講座のフラッシュアップのために検討を重ねてきました。本年度は、特に次の3点に改善を加えて各種研修講座を運営しています。

(1) 先生方のニーズに応じ、全国的にも著名な講師の先生方をお迎えし、魅力ある研修講座を開催します。その一部を紹介します。

- ・澤井陽介先生(研修主任研修 5/16実施済み)
- ・藤田晃之先生(授業改善講座 7/29)
- ・細水保宏先生(授業力向上講座Ⅱ算数 7/31)
- ・田中博史先生(教育実践研究発表大会 1/7)

また、昨年度に引き続き、授業力向上講座の一部において筑波大学附属小中学校の先生方をお呼びしております。その他にも、著名な方々や専門家の方々に講師をお願いしています。ぜひ、要項や研修講座の案内等をご覧いただき、参加してください。

来年度以降、リピーターとなるかもしれません。

(2) 中堅教員の資質向上のため、経験者研修Ⅱ、ミドルリーダー研修、経験者研修Ⅲでは、研究推進研修として自らの指導力向上を高めるとともに、校内の組織強化に資する伝達研修を位置付けました。そのため、学校現場でも使えるように、研修内容を工夫して体験型・参加型の研修を数多く取り入れていきます。

(3) 新学習指導要領では、すでに実施されている道徳の教科化をはじめ、小学校でのプログラミング教育の導入や外国語活動の教科化が示されました。当センターでは学校現場での喫緊の課題解決や今日的な教育課題に対応できるよう、研修講座の精選と重点化を図りました。

現在、働き方改革や若手教員の増加など、まさに学校教育の変革期を迎えており、OJT(職場内研修)の必要性が高まっています。また、初任者研修制度にメンター方式が導入されるなど、その動きは加速していくことが予想されます。当センターでは、今後とも学校のニーズに応じられるよう研修講座の工夫・改善に取り組んでいきます。

## 「教育支援室について」

昨年度、「教育支援室活用の手引き」を作成し、主な業務内容や申請手続きの周知に取り組んだ結果、市内小・中学校をはじめ、各関係機関においても教育支援室の認知度を高めることができました。実際に、一昨年度と比べて教育相談延べ件数が約450件、個別検査実施件数が約60件増加したことに加え、SC・SSWがかかわった件数も増加しているなど、教育支援室の有効な活用が進んでいることを実感しています。

しかし、これまで教育支援室がかかわってきた事案の多くが児童生徒の行動や環境、学校との関係に大きな課題が現れてからの事後支援でした。登校が困難になってしまった状態、二次的障がいも加わり学習上・生活上の課題の克服が難しい状態、加えて学校と保護者の間で意見の相違が発生してしまった状態などを立て直すには、学校にとっても、教育支援室にとっても、大きなエネルギーが必要です。結果的に改善があまり進まないままになってしまうというケースもありました。

そこで、「教育支援室活用の手引き」に記載されているこれまでの取組みに加えて、早い段階から学校とかわらせていただき、学校主体の予防的・早期的な取組みに参画し、一緒に考え、支援していくことにも力を入れていきたいと考えています。

全ての児童生徒が楽しく学校生活を送ることができるよう、教育支援室スタッフがチームとなって支援にあたりますので、「小さな気付き」の段階であっても気軽にご相談ください。

